

文学研究科

文学研究科の「求める」学生像について

【博士課程前期課程】

文学研究科の理念・目的

文学研究科は、人文科学の総合的な研究の場として、新たな学問の可能性をひらく高度な能力を養成するとともに、人文学研究への社会的・現代的要請にもこたえていくことを目的とします。

文学研究科の教育目標・人材育成目標

21世紀を迎えた現在、様々な国際情勢や環境問題を解決していくことにおいても、また産業や科学技術の進歩の中においても、「人間とは何か」を追究するという点において人文科学の探究の意義はますます深まっています。現在の我々のおかれている知の状況を分析し、あらたな知の枠組みを模索することは、私たちの大きな課題です。

半世紀余の歴史を持つ本研究科では人文科学の諸分野における専門的、学際的、国際的な研究が展開され、その中で学界の第一線に立つ研究者や、研究で培った能力を生かして社会の各分野で活躍する高度職業人の育成をめざしています。

具体的には以下のような人材育成を目標としています。

- ①専門領域の研究に対して高い水準の関心を持ち、高度な研究を行うための技能（文献読解力、調査力、語学力、資料収集と分析能力、実験実習に関する技能など）と専門的知識を持ち、自らの研究を専門的な学術論文によって展開することができ、また人文学の学際的研究に対応し柔軟に思考することができる人材（研究者養成コース）。
- ②社会的要請に対応する専門的な技能、知識を持ち、現代の多様な問題に対処すべく研究や発表、実践的活動などを行うことができ、将来は教員、公務員、研究員などの高度な職業人として活躍することができる人材（高度技能展開コース）。
- ③人文学の研究を通じて、深い洞察力、豊かな想像力と広い教養的知識を身につけ、卒業後は社会人として幅広い分野で活躍していくことができる人材（高度教養人養成コース）。

文学研究科の求める学生像（アドミッションポリシー）

研究者養成コース

博士課程前期課程在学中は、将来博士論文の中核となる優秀な修士論文を執筆することを目指し、前期課程修了後、後期課程に進学し、所定の期間中に博士号を取得することを志す人。また、博士課程後期課程修了後、大学などの高等教育・研究機関で教育・研究に従事することを目標にする人を求めています。専門領域に深い関心と幅広い知識を持ち、主要学会で研究発表を行い、主要学会誌での論文掲載を目指す人が望まれます。

高度技能展開コース

博士課程前期課程修了後、中・高等学校の教育職、公務員職、あるいは学芸員を含む、専門的知識や技術が要求されるような職に就くことを志す人や、教員、公務員、研究員、その他の分野の有職者で、

それぞれの分野で最先端の、より専門的な技能や知識を身につけるために進学し、課程修了後、職場に復帰し、大学院で習得した最新の技術や知識の活用を目的とする人を求めています。

高度教養人養成コース

本コースは、特定の専門的知識・考え方を深め、現代社会の表層にとらわれない、深い部分への洞察力を身に付け、また豊かな想像力・創造力を培う志を持つ学生の教育・研究を促進することを目的としています。博士課程前期課程修了後に、社会人として幅広い活動に応えられる教養を身につけることを目的とした人や、有職者あるいは退職者で、社会人としての経験のうえに、さらに高度な教養を身につけることを目的にした人などを求めています。

【博士課程後期課程】

文学研究科の理念・目的

文学研究科は、人文科学の総合的な研究の場として、新たな学問的可能性をひらく高度な能力を養成するとともに、人文学研究への社会的・現代的要請にもこたえていくことを目的とします。

文学研究科の教育目標・人材育成目標

21世紀を迎えた現在、様々な国際情勢や環境問題を解決していくことにおいても、また産業や科学技術の進歩の中においても、「人間とは何か」を追究するという点において人文科学の探究の意義はますます深まっています。現在の我々のおかれている知の状況を分析し、あらたな知の枠組みを模索することは、私たちの大きな課題です。

半世紀余の歴史を持つ本研究科では人文科学の諸分野における専門的、学際的、国際的な研究が展開され、その中で学界の第一線に立つ研究者や、研究で培った能力を生かして社会の各分野で活躍する高度職業人の育成をめざしています。

具体的には以下のような人材育成を目標としています。

- ①専門領域に関する現在の研究状況をふまえ、自らの研究を学会水準の研究報告や専門的水準の学術論文によって展開し、その集大成として優秀な博士論文の執筆を目指す。
- ②専門領域の研究について高い水準の関心と独創的な構想を抱き、また人文学の新しい研究分野、学際的研究に対処していけるだけの柔軟な思考をすることができる人材。
- ③優秀な博士論文を執筆し、将来は大学や研究機関において、研究者としての活躍を行うための高度な専門的スキル（文献読解力、調査力、語学力、資料収集と分析力、実験実習に関する能力など）と専門的知識を持つことができる人材。

文学研究科の求める学生像（アドミッションポリシー）

文学研究科人文学専攻博士課程後期課程においては、所定の期間中に博士号を取得することを志す人、また博士課程後期課程修了後、大学などの高等教育・研究機関で教育・研究に従事することを目標にする人を対象とします。

そのために自己の専門領域の研究を極め、その領域において従来の研究には見られない独創性あふれる研究を展開すると共に、隣接する他学問領域へも幅広い関心を持ち、研究を学際的・総合的に構築していける人であることが望まれます。主要学会で研究発表を行い、主要学会誌に論文を投稿し、それが採用されるだけの力量を有する人が望まれます。

そしてそうした研究の集大成として優秀な博士論文を執筆し、課程博士の学位を取得することを目指す人を求めています。

文学研究科博士課程前期課程 (APUからの特別受入入学試験)【9月入学用】

*【4月入学用】は別にあります。

APUからの特別受入入学試験は、APU在籍者で、本研究科博士課程前期課程への進学を熱望し、かつ専願する者を対象に実施する入学試験です。

I. 募集する専攻(専修)・コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	専修	コース	課程	入学定員	募集人数
人文学	哲 学	研究者養成 高度技能展開 高度教養人養成	博士課程前期課程	105名	若干名
	教育人間学				
	心理学				
	日本文学				
	中国文学・思想				
	英米文学				
	日本史学				
	東洋史学				
	西洋史学				
	地理学				
総合人文学					

入学定員は全入学試験方式をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

●各コースについて

文学研究科では、多様な大学院進学希望者をコースごとに受け入れ、それぞれに応じた研究指導を行うため、以下の3コースごとに入学試験を実施します。なお、入学後のコース変更は原則としてできません。

①研究者養成コース

博士課程前期課程在学中は、将来博士論文の中核となる優秀な修士論文を執筆することを目指し、前期課程修了後、後期課程に進学し、所定の期間中に博士号を取得することを志す人。また、博士課程後期課程修了後、大学などの高等教育・研究機関で教育・研究に従事することを目標とする人を求めています。専門領域に深い関心と幅広い知識を持ち、主要学会で研究発表を行い、主要学会誌での論文掲載を目指す人が望まれます。

②高度技能展開コース

博士課程前期課程修了後、中学校・高等学校の教育職、公務員職、あるいは学芸員を含む、専門的知識や技術が要求されるような職に就くことを志す人や、教員、公務員、研究員、その他の分野の有職者で、それぞれの分野で最先端の、より専門的な技能や知識を身につけるために進学し、課程修了後、職場に復帰し、大学院で習得した最新の技能や知識の活用を目的とする人を求めています。

③高度教養人養成コース

本コースは、特定の専門的知識・考え方を深め、現代社会の表層にとらわれない、深い部分へ

の洞察力を身に付け、また豊かな想像力・創造力を培う志を持つ学生の教育・研究を促進することを目的としています。博士課程前期課程修了後に、社会人として幅広い活動に応えられる教養を身に付けることを目的とした人や、有職者あるいは退職者で、社会人としての経験のうえに、さらに高度な教養を身に付けることを目的とした人などを求めています。

II. 出願資格

1. 立命館アジア太平洋大学各学部4回生

下記の(1)、(2)の要件をともに満たしている者。

(1) 2011年10月1日現在、立命館アジア太平洋大学各学部第7セメスターに在学し、2012年9月までに卒業（見込み）の者（5回生卒業は含みません）。

(2) 以下①、②の学業成績基準を満たす者

①第6セメスター終了時点で、卒業必要単位を98単位以上取得している者。

②卒業必要単位の通算GPAが3.20以上であり、かつ外国語のGPAが3.20以上である者。ただし、言語教育科目（日本語、英語、アジア太平洋諸語）の履修を免除された者は、卒業必要単位の通算GPAが3.20以上とし履修免除理由を示したアカデミック・オフィスによる証明書を提出すること。

* 外国人留学生の場合、大学院での講義を理解できる程度の日本語能力を必要とします。

* GPA (GRADE POINT AVERAGEの略) 算出方法については、143ページを参照してください。

* 出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、入学に必要な要件を2012年9月25日までに満たせない場合は、入学を許可しません。

2. 立命館アジア太平洋大学各学部3回生（APU早期卒業プログラム登録学生）

「早期卒業プログラム」登録者のうち、以下の(1)、(2)の要件をともに満たす者。

(1) 2011年10月1日現在、立命館アジア太平洋大学各学部第5セメスターあるいは第6セメスターに在学し、2012年9月に早期卒業として卒業（見込み）の者。

(2) 以下①、②の学業成績基準を満たす者。

①第4セメスター終了時点で、卒業必要単位を71単位以上取得している者。

②卒業必要単位の通算GPAが3.20以上の者。かつ外国語のGPAが3.20以上である者。ただし、言語教育科目（日本語、英語、アジア太平洋諸語）の履修を免除された者は、卒業必要単位の通算GPAが3.20以上とし履修免除理由を示したアカデミック・オフィスによる証明書を提出すること。

* 外国人留学生の場合、大学院での講義を理解できる程度の日本語能力を必要とします。

* なお、GPAについては、上記の1.の学生と同じ方法で求めます。

* 出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、入学に必要な要件を2012年9月25日までに満たせない場合は、入学を許可しません。

III. 選考方法

1. 書類選考

2. 面接試験

英米文学専修では、面接時に英語による質疑応答を含むことがあります。

IV. 試験日・出願期間

	試験日	出願期間
7月実施入学試験	2012年7月1日（日）	2012年5月18日（金）～2012年6月1日（金）

※出願は郵送に限ります。締切日消印有効。

V. 試験場

立命館大学衣笠キャンパス（試験会場は受験票交付の際に指示します）

VI. 出願方法（出願上の注意は 135 ページを参照してください）

1. 応募者は、2012 年 5 月 18 日（金）までに、文学部事務室に申し出て必ず出願の相談をしてください。
2. 文学部事務室において出願の相談をしたのち、下記により出願手続を行ってください。
 - (1) 出願書類
入学検定料（35,000 円）を納入のうえ、下記書類を一括して提出してください。
 - ① 入学試験志願票（本学所定用紙－水色）※入学検定料の金融機関収納印が押されているもの。
 - ② 成績証明書
 - ③ 卒業見込証明書
 - ④ 研究計画書（本学所定用紙 様式 LT 1）
 - ⑤ 卒業論文概要または研究経過報告書（書式自由で、2,000 字程度）
 - ⑥ 言語教育科目（日本語、英語、アジア太平洋諸語）の履修を免除された者は、免除理由を示したアカデミック・オフィスによる証明書
 - (2) 出願書類送付先
立命館大学文学部事務室（清心館 1 階）
〒 603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
電話（075）465-8187（直通）

VII. 合格発表日

2012 年 7 月 13 日（金） 14：00

文学研究科掲示板（学而館 1 階）

※合否結果の通知は、志願票に記載されている住所宛に郵送します。

※インターネット上の合格者受験番号一覧の掲示については 142 ページを参照してください。

VIII. 入学手続（案内）

144 ページを参照してください。

文学研究科博士課程前期課程 (外国人留学生入学試験)【9月入学用】

*【4月入学用】は別にあります。

I. 募集する専攻(専修)、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	専修	コース	課程	入学定員	募集人数
人文学	哲 学	研究者養成 高度技能展開 高度教養人養成	博士課程前期課程	105名	若干名
	教育人間学				
	心 理 学				
	日 本 文 学				
	中国文学・思想				
	英 米 文 学				
	日 本 史 学				
	東 洋 史 学				
	西 洋 史 学				
	地 理 学				
綜 合 人 文 学					

入学定員は、全入学試験方式をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人員を満たさない場合があります。

●各コースについて

文学研究科では、多様な大学院進学希望者をコースごとに受け入れ、それぞれに応じた研究指導を行うため、以下の3コースごとに入学試験を実施します。なお、入学後のコース変更は原則としてできません。

①研究者養成コース

博士課程前期課程在学中は、将来博士論文の中核となる優秀な修士論文を執筆することを目指し、前期課程修了後、後期課程に進学し、所定の期間中に博士号を取得することを志す人。また、博士課程後期課程修了後、大学などの高等教育・研究機関で教育・研究に従事することを目標にする人を求めています。専門領域に深い関心と幅広い知識を持ち、主要学会で研究発表を行い、主要学会誌での論文掲載を目指す人が望まれます。

②高度技能展開コース

博士課程前期課程修了後、中学校・高等学校の教育職、公務員職、あるいは学芸員を含む、専門的知識や技術が要求されるような職に就くことを志す人や、教員、公務員、研究員、その他の分野の有職者で、それぞれの分野で最先端の、より専門的な技能や知識を身につけるために進学し、課程修了後、職場に復帰し、大学院で習得した最新の技能や知識の活用を目的とする人を求めています。

③高度教養人養成コース

本コースは、特定の専門的知識・考え方を深め、現代社会の表層にとらわれない、深い部分への洞察力を身に付け、また豊かな想像力・創造力を培う志を持つ学生の教育・研究を促進することを目的としています。博士課程前期課程修了後に、社会人として幅広い活動に応えられる教養を身に付けることを目的とした人や、有職者あるいは退職者で、社会人としての経験のうえに、さらに高度な教養を身に付けることを目的にした人などを求めています。

II. 出願資格

A. 日本在住者

日本に在住し、以下の①②のいずれかに該当する者。

①外国の教育機関において、日本の学校教育における16年の課程に相当する課程を修了した者、または入学までに修了する見込みの者。

②留学生の在留資格で日本の大学を卒業した者、または入学までに卒業する見込みの者。

※ただし、大学院の講義を理解できる程度の日本語能力を要します。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、入学に必要な要件を2012年9月25日までに満たせない場合は、入学を許可しません。

B. 海外在住者

出願時、海外に居住し、以下に該当する者。

外国の教育機関において、日本の学校教育における16年の課程に相当する課程を修了した者、または入学までに修了見込みの者。

※ただし、大学院の講義を理解できる程度の日本語能力を要します。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、入学に必要な要件を2012年9月25日までに満たせない場合は、入学を許可しません。

III. 選考方法

1. 書類選考

2. 面接試験

英米文学専修では、面接時に英語による質疑応答を含むことがあります。

IV. 試験日・出願期間

	実施時期	試験日	出願期間
A. 日本在住者	7月実施入学試験	2012年7月1日(日)	2012年5月18日(金) ～2012年6月1日(金)
B. 海外在住者	7月実施入学試験	別途連絡します。	2012年5月18日(金) ～2012年6月1日(金)

※出願は郵送または文学部事務室への持参に限ります。

※郵送の場合は締切日消印有効。持参する場合は締切日当日17:00までに必着。

V. 試験場

立命館大学衣笠キャンパス(試験会場は受験票交付の際に指示します)

VI. 出願方法(出願上の注意は135ページを参照してください)

〔注意〕出願手続をする前に相当の余裕をもって志望専修の主任へ、本人または身元保証人が提出書類のうち次の③～⑧を持参し、出願について必ず相談しておいてください。

1. 出願書類

入学検定料(35,000円)を納入のうえ、下記書類を一括して提出してください。

A. 外国人留学生入学試験(日本在住者)

①入学試験志願票(本学所定用紙-水色)※入学検定料の金融機関収納印が押されているもの。

②最終学校の成績証明書および卒業(見込)証明書

※詳細は135ページを参照してください。

③研究計画書(本学所定用紙 様式LT1)

- ④志望する専修に関する学部卒業論文またはこれに相当する論文
- ⑤立命館大学大学院入学願書（本学所定用紙 様式 GS A）
- ⑥日本語能力認定書（本学所定用紙 様式 GS C）
- ⑦留学希望理由書（本学所定用紙 様式 GS D）
- ⑧最終学校在学時の指導教員もしくは準じる人物による推薦書（本学所定用紙 様式 GS B）
（ただし、提出は任意です。合否判定には関係ありません）

B. 海外在住者

- ①入学試験志願票（本学所定用紙－水色）※入学検定料の金融機関収納印が押されているもの。
- ②最終学校の成績証明書および卒業（見込）証明書
※詳細は 135 ページを参照してください。
※立命館大学在学学生・本学卒業生については、厳封は不要です。
- ③研究計画書（本学所定用紙 様式 LT 1）
- ④志望する専修に関する学部卒業論文またはこれに相当する論文
- ⑤立命館大学大学院入学願書（本学所定用紙 様式 GS A）
- ⑥日本語能力認定書（本学所定用紙 様式 GS C）
- ⑦留学希望理由書（本学所定用紙 様式 GS D）
- ⑧最終学校在学時の指導教員もしくは準じる人物による推薦書（本学所定用紙 様式 GS B）
（ただし、提出は任意です。合否判定には関係ありません）

2. 出願書類送付先

立命館大学文学部事務室（清心館 1 階）
〒 603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
電話（075）465-8187（直通）

Ⅶ. 合格発表

A. 日本在住者

2012 年 7 月 13 日（金）14：00

B. 海外在住者

2012 年 7 月 13 日（金）14：00

文学研究科掲示板（学而館 1 階）

※合否結果の通知は、志願票に記載されている住所宛に郵送します。

※インターネット上の合格者受験番号一覧の掲示については 142 ページを参照してください。

Ⅷ. 入学手続（案内）

144 ページを参照してください。

文学研究科博士課程後期課程 (外国人留学生入学試験)【9月入学用】

*【4月入学用】は別にあります。

I. 募集する専攻(専修)、課程、入学定員および募集人数

専攻	専修	課程	入学定員	募集人数
人文学	哲 学	博士課程後期課程	35名	若干名
	教 育 人 間 学			
	心 理 学			
	日 本 文 学			
	中国文学・思想			
	英 米 文 学			
	日 本 史 学			
	東 洋 史 学			
	西 洋 史 学			
	地 理 学			
綜 合 人 文 学				

入学定員は、全入学試験方式をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

A. 日本在住者

日本に在住し、以下の①②のいずれかに該当する者。

- ①外国の教育機関において、修士に相当する学位を授与された者、または博士課程前期課程に相当する課程を入学までに修了する見込みの者。
- ②留学生の在留資格で日本の大学院博士課程前期課程または修士課程を修了した者、または入学までに修了する見込みの者。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、入学に必要な要件を2012年9月25日までに満たせない場合は、入学を許可しません。

B. 海外在住者

出願時、海外に居住し、以下に該当する者。

外国の教育機関において、修士に相当する学位を授与された者、または博士課程前期課程に相当する課程を入学までに修了する見込みの者。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、入学に必要な要件を2012年9月25日までに満たせない場合は、入学を許可しません。

III. 選考方法

1. 書類選考
2. 面接試験

英米文学専修では、面接時に英語による質疑応答を含むことがあります。

IV. 試験日・出願期間

	実施時期	試験日	出願期間
A. 日本在住者	7月実施入学試験	2012年7月1日(日)	2012年5月18日(金) ～2012年6月1日(金)
B. 海外在住者	7月実施入学試験	別途連絡します。	2012年5月18日(金) ～2012年6月1日(金)

※出願は郵送または文学部事務室への持参に限ります。

※郵送の場合は締切日消印有効。持参する場合は締切日当日17:00までに必着。

V. 試験場

立命館大学衣笠キャンパス（試験会場は受験票交付の際に指示します）

VI. 出願方法（出願上の注意は 135 ページを参照してください）

〔注意〕出願手続をする前に相当の余裕をもって志望専修の主任へ、本人または身元保証人が提出書類のうち次の③～⑧を持参し、出願について必ず相談しておいてください。

1. 出願書類

入学検定料（35,000 円）を納入のうえ、下記書類を一括して提出してください。

※ただし、本学大学院の博士課程前期課程または修士課程から引き続いて博士課程後期課程に進学するために出願する場合は入学検定料を徴収しません。詳細は 136 ページを参照してください。

A. 日本在住者

- ①入学試験志願票（本学所定用紙－水色）※入学検定料の金融機関収納印が押されているもの。
- ②最終学校の成績証明書および修了（見込）証明書
※詳細は 135 ページを参照してください。
※立命館大学在学学生、本学修了生については、厳封は不要です。
- ③研究計画書（本学所定用紙 様式 LT 1）
- ④修士論文（またはこれに代わるもの）
- ⑤立命館大学大学院入学願書（本学所定用紙 様式 GS A）
- ⑥日本語能力認定書（本学所定用紙 様式 GS C）
- ⑦留学希望理由書（本学所定用紙 様式 GS D）
- ⑧最終学校在学時の指導教員もしくは準じる人物による推薦書（本学所定用紙 様式 GS B）
（ただし、提出は任意です。合否判定には関係ありません）

B. 海外在住者

- ①入学試験志願票（本学所定用紙－水色）※入学検定料の金融機関収納印が押されているもの。
- ②最終学校の成績証明書および修了（見込）証明書
※詳細は 135 ページを参照してください。
※立命館大学在学学生、本学修了生については、厳封は不要です。
- ③研究計画書（本学所定用紙 様式 LT 1）
- ④修士論文（またはこれに代わるもの）
- ⑤立命館大学大学院入学願書（本学所定用紙 様式 GS A）
- ⑥日本語能力認定書（本学所定用紙 様式 GS C）
- ⑦留学希望理由書（本学所定用紙 様式 GS D）
- ⑧最終学校在学時の指導教員もしくは準じる人物による推薦書（本学所定用紙 様式 GS B）
（ただし、提出は任意です。合否判定には関係ありません）

2. 出願書類送付先

立命館大学文学部事務室（清心館 1 階）
〒 603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
電話（075）465-8187（直通）

Ⅶ. 合格発表

A. 日本在住者

2012年7月13日（金）14：00

B. 海外在住者

2012年7月13日（金）14：00

文学研究科掲示板（学而館1階）

※合否結果の通知は、志願票に記載されている住所宛に郵送します。

※インターネット上の合格者受験番号一覧の掲示については142ページを参照してください。

Ⅷ. 入学手続（案内）

144ページを参照してください。

